

生物季節観測報告気象報 XML の解説

1. 全体構成

Report

└ Control	伝送情報部
└ Head	ヘッダー部
└ Body	ボディー部

2. 各部の構成と内容

(1) Control 部

Control

└ Title	情報名称。“生物季節観測”と記述。
└ DateTime	発表時刻。“2014-03-18T04:14:59Z”のように協定世界時で記述。
└ Status	運用種別。“通常”を記述。
└ EditorialOffice	編集官署名。“高知地方気象台”のように記述。
└ PublishingOffice	発表官署名。“高知地方気象台”のように記述。

(2) Head 部

Head

└ Title	標題。“生物季節観測”と記述。
└ ReportDateTime	発表時刻。“2014-03-18T13:12:00+09:00”のように日本標準時で記述。
└ TargetDateTime	基点時刻。“2014-03-18T00:00:00+09:00”のように日本標準時で記述。
└ EventID	識別情報。電文発表時刻と生物季節現象コードを“20140318131200_18”のように記述。
└ InfoType	情報形態。“発表”“訂正”“取消”のいずれかを記述。
└ Serial	情報番号。記述しない。
└ InfoKind	スキーマの運用種別情報。“生物季節観測報告気象報”と記述。
└ InfoKindVersion	スキーマの運用種別情報のバージョン番号。“1.0_0”と記述。
└ Headline	見出し要素。記述しない。
└ Text	見出し文。記述しない。

(3) Body 部

Body

└ Meteorological Infos	気象情報。@type=“生物季節観測”と記述
└ Meteorological Info	予報・観測の時間。
└ DateTime	予報・観測の基点時刻。“2014-03-18T00:00:00+09:00”のように日本標準時で記述。
└ Item	予報・観測の内容。記述しない。
└ Kind	警報・注意報、観測情報。記述しない。
└ Name	項目名。“さくらの開花日”のように記述。

- └ Code 警報・注意報コード。“18”のように記述。
- └ ClassName 観測対象の品種または総称。“ソメイヨシノ”のように記述。
- └ Condition 種別の補足説明。“通常”または“不時現象”と記述。
- └ Station 地点要素。記述しない。
- └ Name 観測官署名称。“高知地方気象台”のように記述。
- └ Code 観測官署コード。“47893”のように記述。
- └ Location 観測官署の観測露場の場所。“高知市比島町”のように記述。
- └ Status 観測場所の状況。“構内”または“付近”と記述。
- └ AdditionalInfo 付加事項。記述しない。
 - └ ObservationAddition 観測の付加事項。記述しない。
 - └ DeviationFromNormal 平年差。“-4”のように記述（平年差が算出できない場合は出現しない）。
 - └ DeviationFromLastYear 昨年差。“3”のように記述（昨年差が算出できない場合は出現しない）。
 - └ Text 記事。“高知公園（コウチコウエン）”のように記述。